

新入荷商品のご紹介



アイヌ文化の基本は、家族への愛。その思いがこもった作品で袖と相性がよく存在感ある帯まわりを演出できます。

関根真紀 アイヌ刺繍名古屋帯

291600円



印傳屋 財布

11880円

小ぶりでお金が取り出しやすく普段使いにピッタリの印伝の財布です。黒地に赤漆で菱紋をほどこした印伝らしい印伝です。



渡敬 帯揚げ

10800円

桜の地紋に金をちらして渡敬の帯揚げです。礼装にもカジュアルにも両方使えます。重宝しそうです。



和想庵 バッグ

39800円

和装にも洋装にも合わせやすく、シックでおしゃれな和想庵のバッグ。がま口になっていてデザイン性グッド。持ち手も本草を使い、手にフィット、とても持ちやすいです。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2018年1月号

ごあいさつ



皆さんあけましておめでとうございます。年末年始はいかがお過ごしでしたか？私は凄く充実したといいますが、かわったお正月を過ごしました。1月1日、2日の2日間の10時間近くを家のお風呂で過ごしましたよ。罰ゲームではありません。お風呂で使えるテレビを持ち込みながらゆっくりとしたリラックスタイム。年明け早一番好きなことをしてお正月を過ごせました。幸先がいいですね。今年も皆様を楽しませることのできる河内屋でありたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

特集 信州の下井紬

信州には今でも多くの紬が存在しています。松本紬、飯田紬、伊那紬、上田紬などがその代表で、そのほか個人の作家さんもたくさんみえます。もともと信州は内陸の雪深い地域のため、養蚕や機織りが盛んで、また松本民芸家具の創始者池田三郎の働きにより松本市はクラフトの町として根つき、多くの作家が集まってきました。



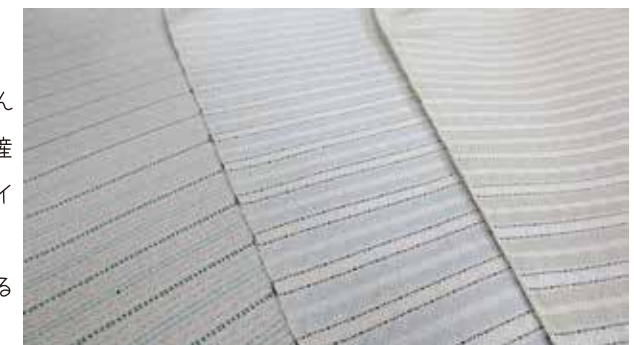
先日かわちやのオリジナルを誂えてきました、近々できてくると思いますのでご期待です。

下井紬とは

そんな信州の紬の中でも最近であった飯田の下井伸彦さんの手掛ける下井紬。下井紬とは下井さんが手掛ける紬で、産地の名前ではありませんが、デザイン専門学校のテキスタイル科を卒業され洋服のデザインの会社で働かれていただけあって、色のセンスが抜群です。中でも下井さんの手掛ける綾織りの着尺は上品で華やかさがあって、凄く素敵です。



信州紬の特徴は無地や縞、格子などの素朴な平織りが基本で、地元の野山に自生する草木を使った草木染などの染織が多いのも特徴の一つです。



3月のたんぽぽ会で特集します。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539